

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	半数位の利用者の認知症状が進み身体的にもかなりレベルが下がり、両極端になってきている。	一人ひとり、そのらしさを失わない様、毎日楽しく充実した一日にする。	会話を多くもつ 自発的に行動するような場面作り 体を動かす機会をつくる	6ヶ月
2	33	重度化、終末期に近い将来になってきている。対象の家族とは話し合いをしているつもりだが不安を感じる。	症状に合わせ、医師、家族、職員などが話し合い、痛みなど伴わない、人間の尊厳を失わない最期であるために考慮し取り組んでいく。	終末期、緊急時のマニュアル、手順書作り 同意書などの見直し	6ヶ月
3	35	災害対策：今回、計画停電などで非常灯が50分程度しか灯いていないことや、電池その他、備蓄品が不十分である事など気づかされることが多かった。 避難について	災害対策の全体的見直し	備蓄品の見直し 緊急時マニュアルの見直し その他	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。